

# JIS

## 建設機械用稼働記録計

JIS A 8108-1992

(2002 確認)

(2006 確認)

平成 4 年 10 月 1 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

---

主 務 大 臣：通商産業大臣 制定：昭和 50.3.1 改正：平成 4.10.1

官 報 公 示：平成 4.10.26

原案作成協力者：社団法人 日本建設機械化協会

審 議 部 会：日本工業標準調査会 土木部会（部会長 西澤 紀昭）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部材料規格課（〒100 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1）へ連絡してください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 建設機械用稼働記録計

A 8108-1992

## Working recorders for construction machinery

1. 適用範囲 この規格は、建設機械の実稼働時間及び実作業に連動するスイッチ<sup>(1)</sup>の開閉を自動的に記録するとともに、作業内容などの区分(以下、作業区分という。), 手動スイッチ<sup>(1)</sup>の開閉などが記録できる建設機械用稼働記録計(以下、稼働記録計という。)について規定する。

注<sup>(1)</sup> 連動スイッチ及び手動スイッチは、附属書参照。

備考 この規格の引用規格を、次に示す。

JIS A 8101 建設機械用計器類の振動及び衝撃試験方法

JIS A 8102 建設機械用エンジン回転計

JIS A 8103 建設機械用走行速度計

JIS A 8104 建設機械用計器たわみ軸

JIS B 7001 時計の試験方法

JIS C 1302 絶縁抵抗計(電池式)

JIS D 0201 自動車部品の電気めっき通則

JIS D 0202 自動車部品の塗装通則

JIS D 0203 自動車部品の耐湿及び耐水試験方法

JIS D 0204 自動車部品の高温及び低温試験方法

JIS D 5005 自動車用電装部品の公称電圧及び試験電圧

JIS H 0404 電気めっきの記号による表示方法

JIS K 2215 内燃機関用潤滑油

JIS Z 8741 鏡面光沢度測定方法

2. 用語の定義 この規格で用いる用語の主な定義は、次のとおりとする。

(1) 実稼働時間記録 建設機械の実作業及びその他の運転時間の記録。

(2) 実作業記録 運転操作のレバーその他関連部分に取り付けた実作業に連動するスイッチによる記録。

(3) 直視指示 外部から直接読み取れるエンジン回転速度、走行速度又は時刻の表示。

3. 種類 稼働記録計は、その機能によって表1のとおり3種類とする。

表1 種類

種類	機能
A形	稼働記録計の機能とともに、エンジン回転速度又は走行速度を記録する機能をもつもので、直視指示機構をもつもの。
B1形	稼働記録計としての機能だけをもつもので、時刻表示の直視指示機構をもつもの。
B2形	稼働記録計としての機能だけをもつもので、直視指示機構をもたないもの。